

MakerFaireTokyo レポート

in TokyoBigsight 2018 8/4sat.8/5sun.

学生スタッフ：櫻井 美可子

二日間にわたって行われた Maker ムーブメントの祭典で、実際に展示されていた作品や、感じたことを紹介していきます！

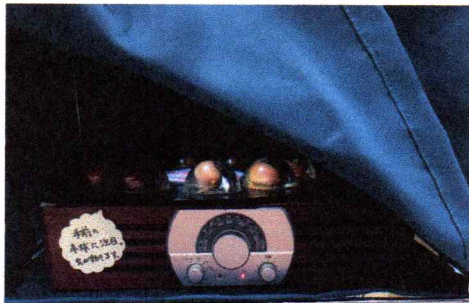
究極の目覚まし

「トントントン…」と包丁がまな板を打つリズムカルな音を延々と流す新感覚目覚まし。お母さんが朝ごはんを作っているというシチュエーションでよい目覚めを。



むしころがし

実物のカナブンの樹脂標本を使って電子工作を制作。標本を CD の上に置いて回転させることによりショートムービーが出来上がる仕組み。樹脂標本をワンシーンごとに使うため、条件に適合する昆虫がカナブンだったという。(丈夫、安価)



アイドル×テクノロジー

大きなサンクラスのようなもので目元を隠し、ステージ上ではノイズやシューゲイザーを中心としてテクノロジーを組み合わせた実験的なライブを行う。(アイドルたちのライブ中の心拍数を図れる等)



外国より出品者、見学者がたくさん！

外国の方が出品なさっているスペースにもお邪魔しましたが、やはりそこには言葉の壁！たくさんのスペースで英語が飛び交っていました。体験や見学をさせてもらい、「〇〇がすごい。〇〇はどうなっているの？」など感謝を伝えたり疑問を投げかけてみたりするのにすごく苦戦しました。出品者の方も、外国の方々に自分の作品を説明しようとしてジェスチャーや翻訳アプリを使用する等、一生懸命さが伝わりました。

